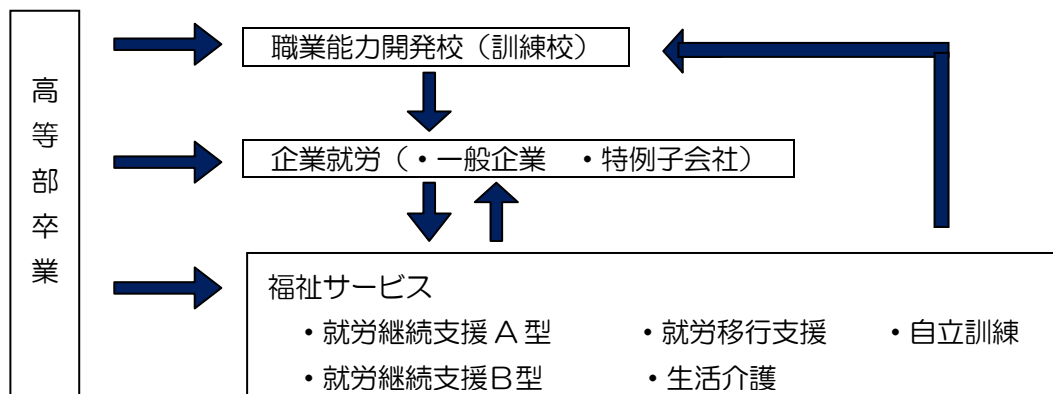


～卒業後の進路～

卒業後の進路は様々な方向があります。今回は、卒業後の進路についてご説明します。



【職業能力開発校（訓練校）】

就職を目指して訓練を行う職業訓練施設です。訓練期間は原則 1 年間です。授業料は無料で、訓練手当が出ます。公共交通機関などで自力通学する力が必要です。入学するためには試験（学力や面接など）があります。試験日が同日開催（①②③）のため、1 校のみの受験となります。

①阪神友愛食品株式会社 能力開発センター

場所…西宮市鳴尾浜（阪神甲子園駅からバスで約 15 分）。募集 15 名。

主な訓練内容は、体力作りや基礎学力、社会性、マナーの学習、リサイクル、農産物の袋詰め、販促物封入があります。

②国立県営兵庫障害者職業能力開発校（伊丹訓練校ともいいます）

場所…伊丹市東有岡（JR 伊丹駅から徒歩約 10 分）募集 15 名。

主な訓練内容は、体力作りやビジネスマナー、SST 等の座学、実務的な作業（仕分け、品出し、清掃、パソコン操作等）があります。

他にも、③兵庫県立障害者高等技術専門学院（神戸市西区）

④国立吉備高原職業リハビリテーションセンター（岡山県）

※本校から阪神友愛食品（株）能力開発センターと国立県営兵庫障害者職業能力開発校に進まれる方が多い。

【企業就労（障がい者雇用での就労）】

・一般企業での就労

一般企業に障がい者雇用として就労します。現在の障がい者の法定雇用率は 2.5% です。雇用形態は、有期雇用でパート・契約社員・準社員などの雇用が多いです。賃金は 1 時間当たり 1,116 円（兵庫県の最低賃金）以上です。1 日 6～8 時間の立ち作業が多く、体力も必要です。

本校の生徒が採用された企業での主な業務は、「清掃」、「工場での製造」、「スーパーなど店舗での品出し」などが多いです。

・特例子会社での就労

一般企業が障がい者を雇用するために作った会社です。環境や配慮が、比較的一般企業よりも整っていることが多いです。入社を希望する方が多く、競争率は高いです。

<企業採用時のポイント>

- ・自力通勤ができる（公共交通機関の利用）
- ・身だしなみ（清潔感）
- ・あいさつや返事ができる
- ・社会や会社のルールを守れる
- ・働きたいという一生懸命な気持ちがある
- ・1 日 6～8 時間働く十分な体力と集中力がある
- ・「ありがとう」、「ごめんなさい」を言うことができる（素直さ）

【福祉サービス】※北部/南部の障害支援課での手続きが必要です。（尼崎市）

概 要	利用期間	受給者証	障害支 援区分
【就労継続支援 A 型】 一般企業等での就労が困難な人に、雇用して就労の機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う。4時間程度の勤務が多い。ハローワークを通じた雇用契約を結び、最低賃金（兵庫県：時給1116円）が保証されている。自力通所が必要である。必要に応じて就労選択支援を受ける必要がある（令和9年4月～）。	—	必要	不要
【就労継続支援 B 型】 一般企業等での就労が困難な人に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために訓練を行う。主に生産活動（箱折りなどの軽作業や清掃など）の提供が行われている。工賃は事業所によって大きく異なり、最低月額の3000円から数万円の事業所まである。送迎のある事業所も多い。必要に応じて就労選択支援（就労アセスメント）を受ける必要がある。	—		
【就労移行支援】 一般企業等への就労を希望する人に生産活動や職場体験の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練が行われる。作業を中心としている事業所やビジネスマナーを中心としている事業所があります。利用できる期間は2年間で、企業実習などのプログラムがある。自力通所が必要である。	※原則 2年間		
【自立訓練】 自立した日常生活や社会生活ができるよう、原則2年間で生活能力などの向上のために必要な訓練を行う。洗濯・掃除などの日常生活能力についてのプログラム、生活リズムの確立や金銭管理・休日の過ごし方などの自己管理能力についてのプログラム、コミュニケーション・交通機関・銀行・医療機関の利用方法を学ぶ社会生活能力についてのプログラムなどが行われる。自力通所が必要である。			
【生活介護】 入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動（自主製品作りやレクリエーション）などの提供が行われている。サポート体制も比較的充実している。簡単な作業を行い、工賃が発生する事業所もある。送迎のある事業所も多い。	—		3以上

事業所によって、いろいろ違いがあります。お時間がある時に、事業所を見学することをおすすめします。

＜見学のポイント＞

- ・建物大きさや利用者の人数、雰囲気など（本人に合っているか）
- ・送迎について（送迎の有無や範囲、費用など）
- ・昼食の提供について（宅配弁当なのか、施設内調理か、アレルギー対応の可否、費用など）
- ・作業内容や工賃について（本人に作業内容が合っているか）
- ・余暇時間の過ごし方やレクリエーションの有無
- ・利用時間について
- ・スタッフの人数やクールダウンの場所の有無など
- ・支援内容について（日常生活の介護や支援などをどの程度してもらえるのか）

*親子で見学へ行くと、実際に通所する本人がどのように感じるかがわかりやすいと思います。

*高等部でなくても見学や問い合わせは可能です。